



2025年2月27日

ー取引先のSDGs/ESGへの取組みを後押しー 「サステナビリティ・リンク・ローン」の取組みについて

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、山口重工業株式会社（代表取締役 山口 豊和）が制定したサステナビリティ・リンク・ローン・フレームワークに基づき、同社と「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下「SLL」）としての融資契約を締結しましたので、お知らせします。

SLLは、取引先が自社のSDGs/ESG戦略に基づき「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット」（以下「SPTs」）を定め、金融機関はその達成度合いに応じて、金利を変動させる等のインセンティブを設定する融資です。

当行は、地域金融機関として、SDGs/ESGに取り組む企業の支援を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

■ SLLの概要

契 約 日	2025年2月26日
K P I ^{※1}	KPI-1: スコープ ^{※2} 3 のカテゴリー1 ^{※3} のうち当社での製造に直接関わる材料入荷・外注加工量において、活動量あたりCO ₂ 排出量（入荷材料トンあたり）を2029年度までに2023年度比15.0%削減する KPI-2: スコープ1・2において、活動量あたりCO ₂ 排出量（入荷材料トンあたり）を2029年度までに2023年度比17.4%削減する
S P T s ^{※4}	SPT-1: スコープ3のカテゴリー1のうち当社での製造に直接関わる材料入荷・外注加工量において、活動量あたりCO ₂ 排出量（入荷材料トンあたり）を、2023年度を基準に2029年度まで、毎年2.5%に年数を乗じた率で削減する SPT-2: スコープ1・2において、活動量あたりCO ₂ 排出量（入荷材料トンあたり）を、2023年度を基準に2029年度まで、毎年2.9%に年数を乗じた率で削減する
インセンティブ	SPTsの達成状況に応じた適用金利の優遇
そ の 他	SLLとしての準拠性およびSPTsの妥当性について、Codo Advisory株式会社から、セカンドオピニオンを取得しています

※1 KPIとは、Key Performance Indicatorの略で目標を達成する上で、その達成度合いを計測・モニタリングするための定量的な指標のことで、

※2 スコープ1とは企業が直接排出する温室効果ガス、スコープ2は他社から供給された電気等の使用に伴い間接排出する温室効果ガス、スコープ3はスコープ1およびスコープ2以外の間接排出（企業の活動に関連する他社の排出）する温室効果ガスのことで、

※3 カテゴリー1とは、企業が購入・取得した製品およびサービスの資源採取段階から製造段階までの温室効果ガスのことで、

※4 SPTsとは、Sustainability Performance Targetsの略でサステナビリティ・リンク・ローンなどの借り手が表明する、KPIの具体的な数値目標のことで、

以 上

本件に関するお問い合わせ先
法人ソリューション部 大原・深浦 TEL092-476-2741